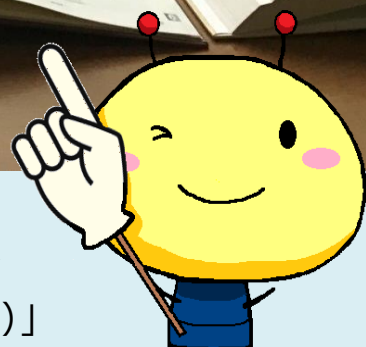


閉館中の作業その①

# 図書・楽譜の曝書（ばくしょ）

実施期間：2017年8月16日（水）～18日（金）



図書館の閉館中の作業をご紹介します。今回は「閉館中の作業その①」として、主に夏の閉館中に行っている「曝書（ばくしょ）」についてご紹介します。

昔は虫干し・蔵書点検・書架整備のことをまとめて「曝書」といっていました。本学では、蔵書点検は3月、書架整備は常に（大規模なものは3月）、虫干しは8月の閉館期間中に実施しています。それぞれ実施時期が違うので、虫干しのことを「曝書」と呼んでいます。曝書は本や楽譜を広げて除湿や殺菌して、資料を長期保管するための作業です。資料を痛めることなく虫干しをするため、1日1回数日に分けて日陰で行います。曝書を行うためには、資料を広げる場所を確保するために閉館する必要があります。厚木時代は2週間閉館して実施していましたが、年々閉館期間が減少し、現在は一斉休暇後の3日間で行っているため、曝書できる資料はほんのわずかです。それでも貴重な資料がたくさんあるので、これからも毎年実施していきます。学生・教職員のみなさまのご理解・ご協力をお願いします。